

施設の短期中期のサービス向上への取り組み

1. 利用者の満足を追求する

(1)利用者の「きてよかったね」につながる対応

- ・ひとりひとりの職員が、丁寧かつ適切な対応に努め、利用者との信頼関係構築を目指す。
- ・職員同士による意見交換や啓発、上位職員による OJT や研修参加・施設見学を通して、「見守り」「声かけ」「傾聴」のスキルを高める。
- ・利用者支援の充実に向けて、より円滑に事業間の連携が取れるよう、方法の見直しに取り組む。

(2)安心・安全の保障

- ・事業ごとに、安心・安全を保証するための環境作り（施設・設備の日常点検、リスクマネジメントに関する研修参加など）に取り組む。
- ・府中市とともに防犯・防災に関する設置機器について再確認し、非常時の体制や役割分担について検討する。
- ・感染症関連の情報収集に努め、あわせて利用者への啓発を図る。

2. 家族支援・地域支援の拠点となる

(1)利用者ニーズへの対応

- ・利用者の声に耳を傾け、各事業や各行事の利用者アンケートの回答なども参考にしてニーズ把握に努め、事業の評価・見直しを行う。

(2)ボランティアの活動の場の拡充

- ・新たな活動の機会を検討し、ボランティア受け入れの拡張を目指す。
- ・オリエンテーションや体験実施、講座開催などを通し、育成に取り組む。

(3)青少年総合相談の実施

- ・府中市児童青少年課や関連団体との連携を図りながら対応する。

(4)高齢施設との連携

- ・府中 3 拠点の法人高齢施設との情報交換を通し、相互理解を深め、ダブルケア世帯などへの支援の充実を目指す。

3. 核となる職員の定着・安心の実現

(1)適切な組織体制の維持

- ・安定した事業運営ができるように職員体制を整え、各事業が相互協力する。

(2)継続して働ける体制づくり

- ・業務の効率化を図り、業務分担が適正であるかの日常的な確認に努める。
- ・職員が心身ともに健康に勤務できるよう、環境を整える。

4. 経営体制の確立

- ・財源を有効活用できるよう、適切な財務管理を行い、職員の意識向上を図る。
- ・開設から現在の状況を鑑みた上で、事業が安定して運営できるよう、府中市との協議に臨む。

施設の取組

- ・市民のための子育て支援事業として、職員ひとりひとりが自覚と責任を持つ。
- ・府中市の条例・要綱、法人の規程・規則などの正しい理解に努める。
- ・府中市の子ども・子育て新制度について理解を深め、事業に取り組む。
- ・計画的な予算執行、適切な財務管理・労務管理に取り組み、職員の意識向上を図る。
- ・利用者対応のスキルアップを目的とした研修実施・参加に積極的に取り組む。
- ・防災体制について府中市も交えて検討し、職員のさらなる意識向上を図る。

